

## < 会長挨拶 >



山梨県高等学校体育連盟  
会 長 小 俣 宏 記

日頃より本連盟の活動に対しまして、御支援、御協力を賜り深く感謝申し上げます。

創立74周年を迎え、昭和23年に加盟28校13専門部でスタートした本連盟も、体育・スポーツ活動を通じて心身ともに健全な高校生を育成することを目的に、長きに渡り多くの先生方の情熱と弛まぬ御尽力をいただき、現在、加盟64校38専門部までに発展しております。

高体連は、体育・スポーツ活動を通して生徒の心身の健全な育成を図ることを目的として、競技力の向上、指導者育成、調査研究など、多くの事業を展開しております。

本連盟の歴史は74年の長きに渡るものでありますが、歴代の諸先輩方が築いてこられた、伝統を継承しつつも、「令和時代」の新しい高体連の歴史を創造していくことが、私たちの使命だと思っております。

さて、昨年からの新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響は、高体連の諸行事を直撃しました。昨年度の4月から7月までの期間は、学校の休校とともに部活動も活動が大幅に制限されました。その後、県教委のご指導の下、段階的に活動を再開してきています。現在も、従来通りの活動には戻ってはおりませんが、山梨県の先進的な取り組みのおかげで、感染者数も抑えられており、工夫した対応の中、部活動の継続が進められているところであります。

生徒の主体的、創造的学びを育む部活動は、その発表の場があることが大切です。目標に向かって努力するその経験は、これからの人生の大きな糧となるものです。「発表の場である大会を提供してあげたい」高体連の願いであり、大きな役割であると考えます。

東京オリンピック・パラリンピック開催が、間近にせまっておりますが、スポーツは、世界共通の文化でもあり、たとえ言葉が違っても、すべての人々がスポーツでつながり、心を共有できる素晴らしい教材であると思えます。本県高体連も、体育・スポーツ活動を通して、すべての生徒や各学校が「心を一つにすること」「元気になること」「笑顔になること」そして、未来に向かって「夢や希望をもてること」を目指しており、その実現を図ることが会長としての私の願いでもあり、務めでもあると思っております。

また、本連盟では、競技普及、競技力向上、指導者育成、調査研究など、多くの事業を展開しています。昨今、課題となっている教員の多忙化を改善するため、効果的・効率的な部活動運営を目指した各種の調査・研究も充実させ、持続可能な部活動運営の在り方を常に模索していきたいと考えているところであります。今後も皆様から御意見、御要望をいただく中で、高体連の諸事業・活動が安心・安全に実施できることを念頭におき、更なる検討を図って参りたいと考えておりますので、より一層の御理解、御協力をお願い申し上げます。

結びに、長年にわたり支えていただいております関係者の皆様、並びに御支援、御協力を賜りました関係各位、また、日頃から生徒の指導に御尽力をいただいております各校の先生方、そして生徒の皆さんに心から感謝を申し上げます。